

第47回がん検診のあり方に関する検討会	資料 4 - 1
令和 8 年7月16日（木）	

攻めの予防医療におけるがん検診の取組の推進について

厚生労働省 健康・生活衛生局
がん・疾病対策課

第221回国会における総理施政方針演説・厚生労働大臣所信表明

○総理施政方針演説（令和8年2月20日・抄）

7 人材力

（2）人材総活躍

（略）

性差に由来した健康課題への対応を加速すべく、診療領域を横断した対応策の整理や診療拠点の整備を進め、特に女性の生涯にわたる健康支援を強化します。がん・難病のゲノム医療や「ワンヘルス」の取組も推進します。

（3）総合的な人口政策・外国人との秩序ある共生社会の実現

（少子高齢化・人口減少に対応した社会経済の再構築）

（略）

また、データヘルスや保険者機能の強化、健康経営に取り組む地域企業への支援、がん検診・歯科健診の推進を通じ、「攻めの予防医療」を具体化させます。健康寿命の延伸を図ることで、皆が元気に活躍し、社会保障制度を含めた社会の支え手となっていけるようにします。

○衆議院厚生労働委員会 厚生労働大臣所信表明（令和8年4月3日・抄）

性別、年齢、働き方によらず、国民お一人お一人が健康で元気に活躍し、社会保障の担い手になっていただくことで、経済社会の活力を維持強化するため、攻めの予防医療を推進する総合的な対策を取りまとめてまいります。

まず、がん検診の推進です。社会全体としての死亡率の減少を図るため、科学的根拠に基づくがん検診を受けることが重要であり、令和七年度補正予算における関連予算の活用を始め、令和十年度までにがん検診受診率六〇%、精密検査受診率九〇%を達成できるよう、更なる取組を進めてまいります。

現状（これまで）

- ◆令和4年段階でのがん検診（※）の受診率は、全国で43～53%。また、市区町村の実施するがん検診における精密検査の受診率は、70～90%。

（※）胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん

- ◆第4期がん対策推進基本計画において、令和10年までに①「がん検診受診率60%」、②「精密検査受診率90%」という目標（※）を掲げている。目標達成に向け、①②それぞれについて以下を実施してきた。 ※令和10年までの達成目標

①対象者一人一人への個別受診勧奨・再勧奨の推進や、子宮頸がん検診・乳がん検診の受診クーポン券の配布等に対する支援、「受診率向上施策ハンドブック（自治体の好事例紹介）」の活用促進

②市区町村における対象者一人一人への個別受診再勧奨の推進

実施すること

- ◆第4期がん対策推進基本計画における①「がん検診受診率60%」、②「精密検査受診率90%」の目標達成に向けて、以下のとおり取り組んでいく。特に、精密検査受診率の向上を最優先で取り組む。

①「がん検診受診率60%」に向けた取組

- ・未受診者への個別勧奨を更に徹底する。
- ・メディアとのコラボ（メディア・市区町村等と連携し、全国一斉に受診勧奨を行うなど）を進める。

②「精密検査受診率90%」に向けた取組

- ・精密検査の重要性を普及啓発する資材を開発し、精密検査対象者に周知する。
- ・未受診者への個別勧奨を更に徹底する。（再掲）
- ・メディアとのコラボ（メディア・市区町村等と連携し、全国一斉に受診勧奨を行うなど）を進める。（再掲）
- ・職域検診において、保険者が精密検査対象者への受診勧奨等を積極的に行えるよう、科学的根拠に基づくがん検診の支援のあり方を検討する。
- ・職域においても科学的根拠に基づくがん検診の、精密検査の受診状況等の実態把握を進める。

- ◆事業者による労働者の健康保持増進措置の枠組を活用したがん検診の実施の促進（THP指針の改定）

【○科学的根拠に基づくがん検診の受診率向上に向けた取組の推進】

施策名：科学的根拠に基づくがん検診の推進事業

令和7年度補正予算額 5.4億円

健康・生活衛生局がん・疾病対策課
(内線3827)

① 施策の目的

科学的知見に基づくがん検診の推進のため、精密検査対象者に対する効果的な受診勧奨の推進と、精密検査未受診者に対する再勧奨の徹底に加えて、特に他のがん種に比べて精密検査受診率向上の余地のある大腸がん・子宮頸がんを中心に検診受診に関する普及啓発等を推進することで、早期がんの段階で治療につなげ、がんによる死亡者の減少を図る。

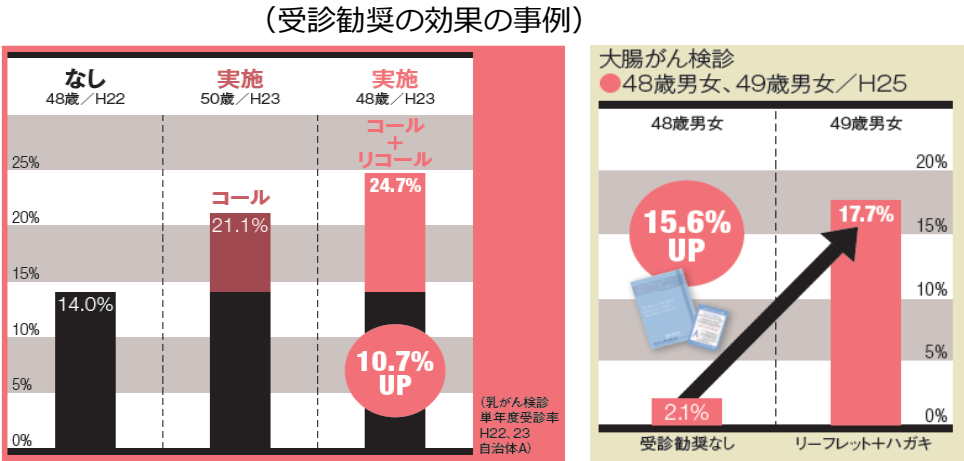
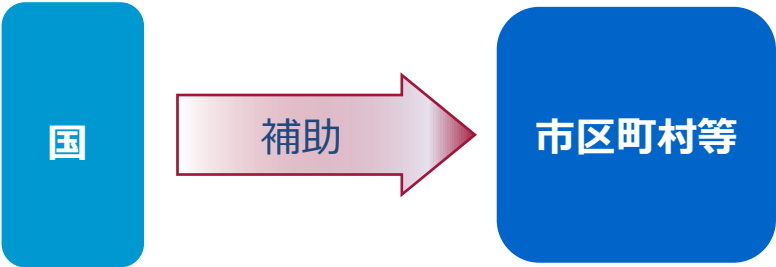
② 対策の柱との関係

Ⅰ			Ⅱ					Ⅲ	
1	2	3	1	2	3	4	5	1	2
							○		

③ 施策の概要

- ・がん検診の精密検査受診率向上を目標としたがんの普及啓発に関する事業等を実施する。
- ・精密検査対象者に対する効果的な受診勧奨の推進と、精密検査未受診者に対する再勧奨を徹底する。

④ 施策のスキーム図、実施要件(対象、補助率等)等



⑤ 成果イメージ(経済効果、雇用の下支え・創出効果、波及プロセスを含む)

- ・がん検診に関する普及啓発の充実を図るとともに、精密検査の受診再勧奨等を行うことで、より早期がんの段階で治療につなげることで、がんによる死亡者の減少を図る。

がん検診精密検査の受診勧奨資材を用いた受診勧奨の徹底について

- ・精密検査の更なる受診率向上に向けて、ソーシャルマーケティングを活用した効果的ながん検診受診勧奨資材の開発を実施している「希望の虹プロジェクト」に協力を依頼して資材を共同で発行した。
- ・自治体に対して、がん検診受診者のうち要精密検査となった者に対して精密検査の受診勧奨・再勧奨の徹底に取り組んでいただくとともに、本資材をご活用いただくよう事務連絡を発出（令和8年1月23日）。
- ・さらに保険者（※）に対して、がん検診受診者のうち要精密検査となった方に対し受診勧奨・再勧奨を積極的に行うとともに、精密検査の受診勧奨・再勧奨に活用できる、がん種別の精密検査の受診勧奨資材を周知する事務連絡を発出（令和8年2月2日）。

※全国健康保険協会、健康保険組合、国家公務員共済組合、地方公務員共済組合、日本私立学校振興・共済事業団、全国土木建築国民健康保険組合

男性用

【胃エックス線検査】

重要 がん検診の結果、精密検査が必要と判定されたあなたへ

あなたは **胃がん**の疑いがあると判定されました
胃エックス線検査において、がんの可能性がある異常が認められました

男性のがんのうち
3番目に多い死因が胃がんです

胃がんは早期発見・早期治療が大切です。胃がんは早期発見・早期治療が大切です。胃がんは早期発見・早期治療が大切です。

早期発見「すれば9割以上」が治ります*

速やかに、精密検査を受けてください

厚生労働省 希望の虹プロジェクト

【胃内視鏡検査】

重要 がん検診の結果、精密検査が必要と判定されたあなたへ

あなたは **胃がん**の疑いがあると判定されました
胃内視鏡検査において、がんの可能性がある異常が認められました

男性のがんのうち
3番目に多い死因が胃がんです

胃がんは早期発見・早期治療が大切です。胃がんは早期発見・早期治療が大切です。胃がんは早期発見・早期治療が大切です。

早期発見「すれば9割以上」が治ります*

速やかに、精密検査を受けてください

厚生労働省 希望の虹プロジェクト

【胸部エックス線検査】

重要 がん検診の結果、精密検査が必要と判定されたあなたへ

あなたは **肺がん**の疑いがあると判定されました
胸部エックス線検査において、がんの可能性がある異常が認められました

男性のがんのうち
最も多い死因が肺がんです

肺がんは早期発見・早期治療が大切です。肺がんは早期発見・早期治療が大切です。肺がんは早期発見・早期治療が大切です。

早期発見「すれば約8割」が治ります*

速やかに、精密検査を受けてください

厚生労働省 希望の虹プロジェクト

【便潜血検査】

重要 がん検診の結果、精密検査が必要と判定されたあなたへ

あなたは **大腸がん**の疑いがあると判定されました
便潜血検査において、がんの可能性がある異常が認められました

男性のがんのうち
2番目に多い死因が大腸がんです

大腸がんは早期発見・早期治療が大切です。大腸がんは早期発見・早期治療が大切です。大腸がんは早期発見・早期治療が大切です。

早期発見「すれば9割以上」が治ります*

検査とがん治療が同時にできます

速やかに、精密検査を受けてください

厚生労働省 希望の虹プロジェクト

- がん種別の精密検査受診勧奨資材を作成。（10種類）
- がん検診の検査項目・性別毎にメッセージを記載。
- 活用の際には、「希望の虹プロジェクト」に申し込む。



【乳房エックス線検査】 (マンモグラフィ)

【細胞診検査】

女性用

重要 がん検診の結果、精密検査が必要と判定されたあなたへ

あなたは **胃がん**の疑いがあると判定されました
胃エックス線検査において、がんの可能性がある異常が認められました

女性のがんのうち
5番目に多い死因が胃がんです

胃がんは早期発見・早期治療が大切です。胃がんは早期発見・早期治療が大切です。胃がんは早期発見・早期治療が大切です。

早期発見「すれば9割以上」が治ります*

速やかに、精密検査を受けてください

厚生労働省 希望の虹プロジェクト

重要 がん検診の結果、精密検査が必要と判定されたあなたへ

あなたは **胃がん**の疑いがあると判定されました
胃内視鏡検査において、がんの可能性がある異常が認められました

女性のがんのうち
5番目に多い死因が胃がんです

胃がんは早期発見・早期治療が大切です。胃がんは早期発見・早期治療が大切です。胃がんは早期発見・早期治療が大切です。

早期発見「すれば9割以上」が治ります*

速やかに、精密検査を受けてください

厚生労働省 希望の虹プロジェクト

重要 がん検診の結果、精密検査が必要と判定されたあなたへ

あなたは **肺がん**の疑いがあると判定されました
胸部エックス線検査において、がんの可能性がある異常が認められました

女性のがんのうち
2番目に多い死因が肺がんです

肺がんは早期発見・早期治療が大切です。肺がんは早期発見・早期治療が大切です。肺がんは早期発見・早期治療が大切です。

早期発見「すれば9割以上」が治ります*

速やかに、精密検査を受けてください

厚生労働省 希望の虹プロジェクト

重要 がん検診の結果、精密検査が必要と判定されたあなたへ

あなたは **大腸がん**の疑いがあると判定されました
便潜血検査において、がんの可能性がある異常が認められました

女性のがんのうち
最も多い死因が大腸がんです

大腸がんは早期発見・早期治療が大切です。大腸がんは早期発見・早期治療が大切です。大腸がんは早期発見・早期治療が大切です。

早期発見「すれば9割以上」が治ります*

検査とがん治療が同時にできます

速やかに、精密検査を受けてください

厚生労働省 希望の虹プロジェクト

重要 がん検診の結果、精密検査が必要と判定されたあなたへ

あなたは **乳がん**の疑いがあると判定されました
乳房エックス線検査(マンモグラフィ)において、がんの可能性がある異常が認められました

女性がかかるがんのうち
最も多いのが乳がんです

乳がんは早期発見・早期治療が大切です。乳がんは早期発見・早期治療が大切です。乳がんは早期発見・早期治療が大切です。

早期発見「すれば9割以上」が治ります*

速やかに、精密検査を受けてください

厚生労働省 希望の虹プロジェクト

重要 がん検診の結果、精密検査が必要と判定されたあなたへ

あなたは **子宮頸がん**の疑いがあると判定されました
細胞診検査において、がんの可能性がある異常が認められました

女性がかかるがんのうち
5番目に多いのが子宮がんです

子宮頸がんは早期発見・早期治療が大切です。子宮頸がんは早期発見・早期治療が大切です。子宮頸がんは早期発見・早期治療が大切です。

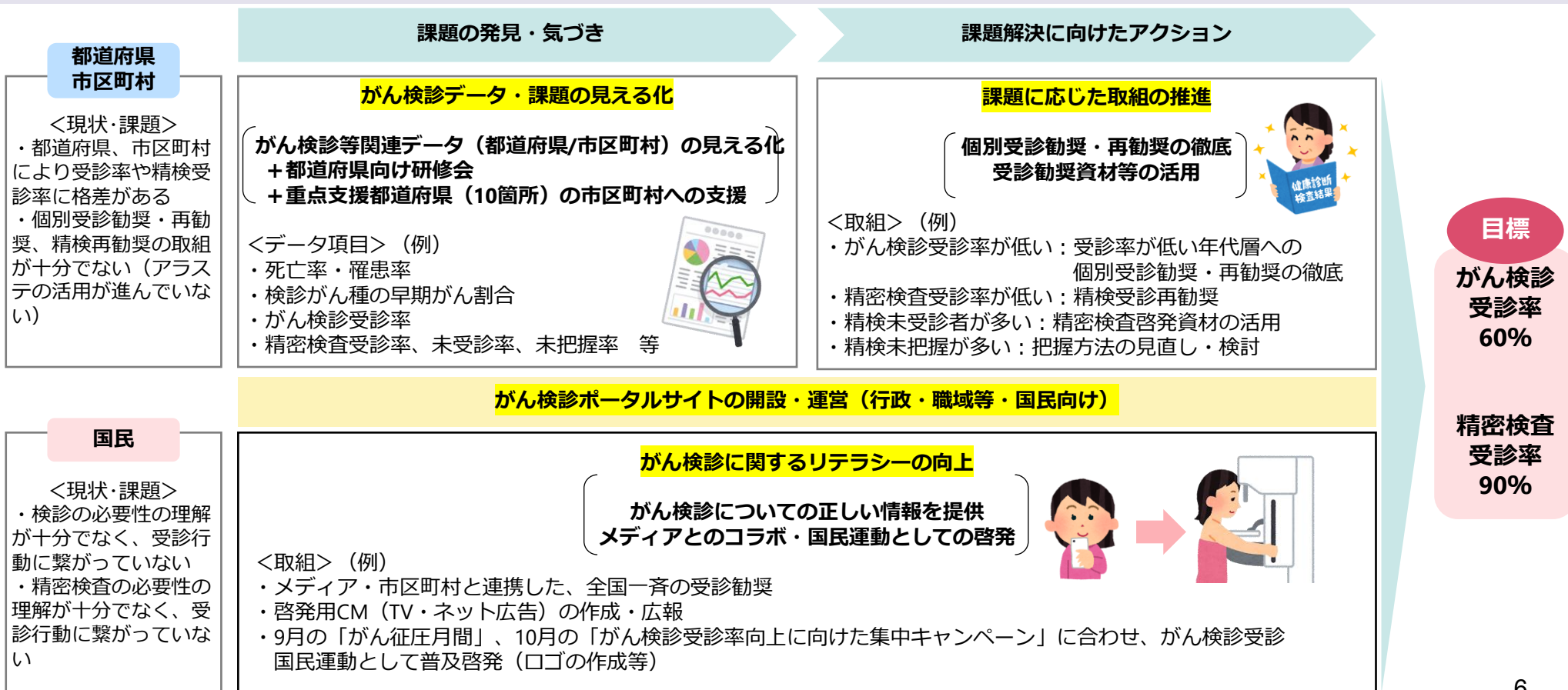
早期発見「すれば9割以上」が治ります*

速やかに、精密検査を受けてください

厚生労働省 希望の虹プロジェクト

がん検診受診率向上推進事業（いのちを守るがん検診プロジェクト）

- ◆ 第4期がん対策推進基本計画において、令和10年度までに①「がん検診受診率60%」、②「精密検査受診率90%」という目標を掲げ、目標達成に向け、個別受診勧奨・再勧奨の推進や子宮頸がん検診・乳がん検診の受診クーポン券の配布、精検受診者に対する再勧奨等の支援等を実施してきた。
- ◆ 令和4年のがん検診の受診率は、全国で43～53%、また、市区町村の実施するがん検診における精密検査の受診率は、70～90%と、がん種により格差がある状況である。
- ◆ そこで、がん検診等関連データを活用して、**都道府県および市区町村の課題を「見える化」**することで、**都道府県や実施主体である市区町村が重点的に取り組むべき施策を明確**にし、都道府県が受診率や精検受診率の低い市区町村に対して指導・助言を行うことで、受診率向上に向けた市区町村のがん検診の取組を加速する。また、国民に対しがん検診についての正しい情報を提供し、**がん検診に関するリテラシーを高め、受診行動に繋げる**ことを目的に本事業を実施する。

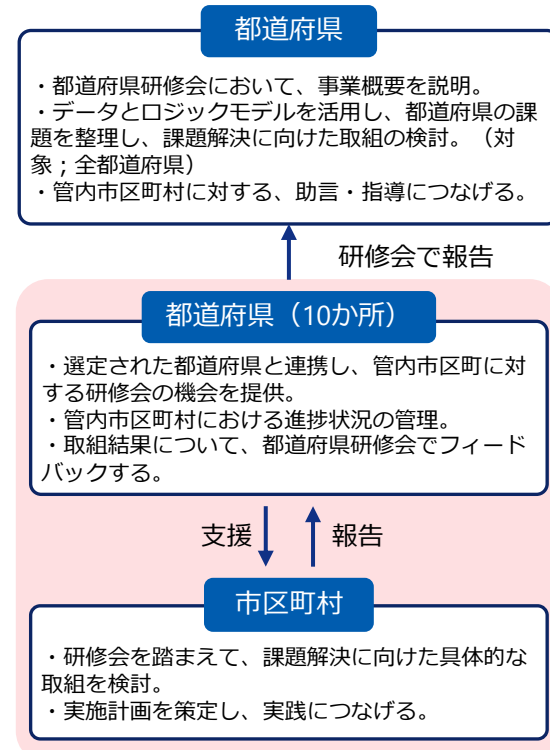
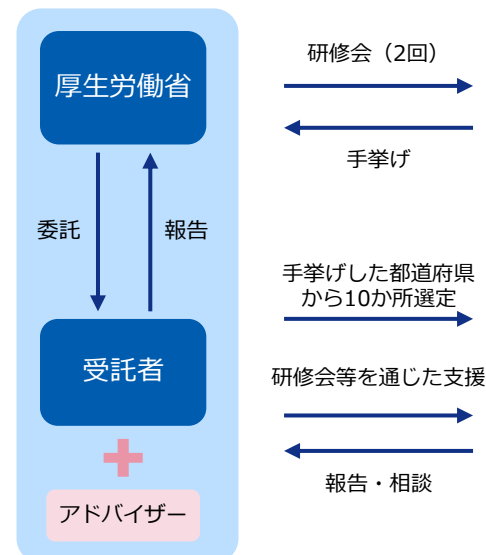
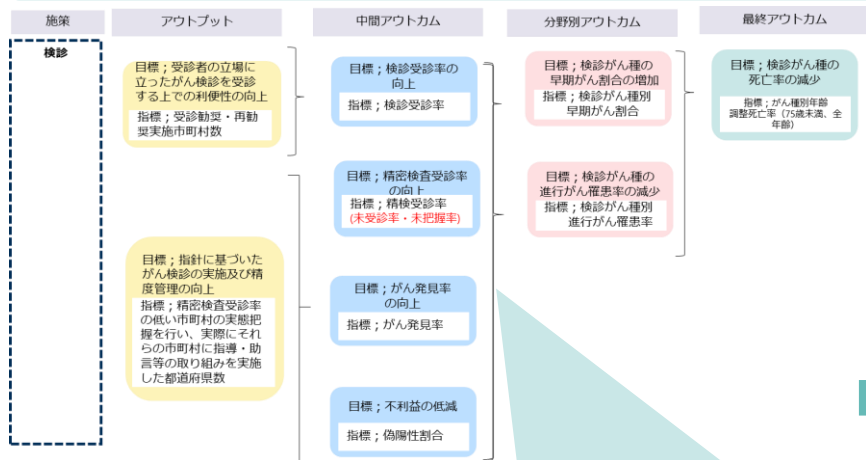


がん検診データ・課題の見える化

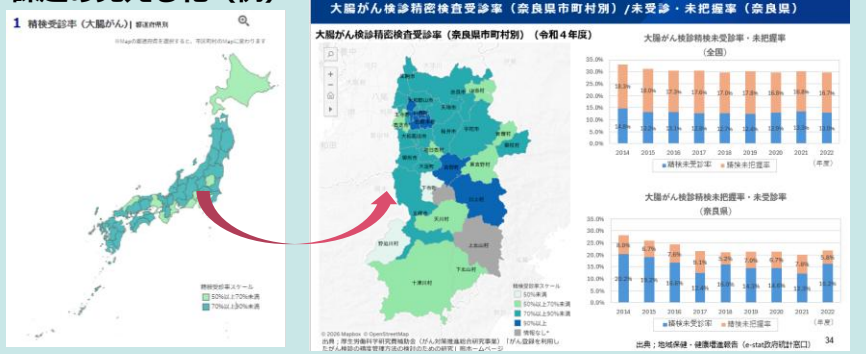
- ◆ 都道府県・市町村が課題を整理し取組を強化できるよう、国ががん検診等関連のデータを集計・ロジックモデル上に整理し、特設ホームページ上に公表する。
- ◆ 都道府県を対象とした研修会を開催し、都道府県ががん検診等関連データから自県の課題を把握する。また、都道府県研修を受けて、各都道府県は管内市町村に対し、指導・助言（研修会）等を実施する。特に、支援を希望する都道府県（10か所）を選定し、重点支援都道府県と受託者が連携して、管内市区町村を対象とした研修会を開催する。研修会においては、特に精検受診率向上に向けた課題解決の取組を検討し、効果的な取組につながるよう支援する。

- 都道府県・市町村別のがん検診等関連データを集計・分析・公表
- ロジックモデルを活用して課題整理（47都道府県）

- 都道府県を対象に研修会を開催（2回/年）
- 都道府県研修を踏まえて、都道府県は管内市町村に対する助言・指導を実施
- 重点支援都道府県（10か所）を選定し、都道府県管内市町村対象の研修会の開催を重点的に支援（10か所×2回/年）
〔ワークショップ形式で各市町村が課題解決に向けた具体的な取組を検討し、実践につなげる〕



課題の見える化 (例)



<支援内容>

- ・ 都道府県・市区町村ががん検診関連データとロジックモデルを活用して課題整理を行い、具体的な取組について検討できるよう助言。
- ・ 都道府県単位で管内市区町村が課題の共有等ができる研修会を実施し、市区町村が策定する実施計画に対する技術的支援を行う。

<重点支援都道府県> 茨城県、栃木県、神奈川県、京都府、大阪府、和歌山県、島根県、徳島県、愛媛県、沖縄県